

九小のみなさんへ

今回、給食が原因と考えられる病気が発生しました。九小でも200人を超えるお友達がはいたり、おなかをこわしたり、とても苦しい思いを経験しました。中には、入院をして治療をお友達もいます。幸い、お友達の具合はよくなってきました。つらい思いをお友達、よくがんばりましたね。

今回のこの事故について「共同調理場のせいだ」と思う人もいるかもしれません。4年生以上のみなさんは、「共同調理場」に見学に行ったときのことと思い出してみましょう。おいしい給食を一生懸命に作ろうと働いてくださっている人がいましたね。あの日の給食も同じ思いで作られていたはずです。

校長先生は思います。残念なことに、事故はおきてしまいました。何が原因か今、調べている途中です。まず、そのことをはっきりさせて、二度とくり返さないさないことが大切なのです。失敗はだれもがしますが、今回のこと多くの子供たちが苦しい思いをしたことと思うと、校長先生も胸が痛みます。

今、立川市では、教育委員会を中心にたくさんの大人が、二度とこのような事故を起こさないように原因を調べたり、さまざまな仕組みを見直したりして努力をしています。もちろん、「共同調理場」で働いている人も同じ気持ちです。またみんなで、おいしい給食を食べられるようになることを校長先生は願っています。

平成29年2月27日

立川市立第九小学校 校長 福原憲生